

「むつ松木屋」改修事業 低貸し付けの金融支援 民間都市開発機構、全国第1号

民間都市開発推進機構
都市再生推進法人「田名部
まちづくり」による同市柳



地域交流センターが開設されるなど
リニューアルオープンした「むつ松
木屋」は28日、むつ市柳町1丁目

町1丁目の商業ビル「むつ松木屋」の改修事業に、低貸し付けによる金融支援を実施した。居心地が良く、歩きたくなる街づくりの支援に向け、国土交通省が昨

年度創設した「まちなか公共空間等活用支援事業」の全国第1号案件となる。商業ビルは22日、リニューアルオープンした。改修したのは5階建てビルの1階部分。テナントのスーパードラッグ(弘前市)の店舗スペース改装に加え、誰でも利用できる交流・滞在空間として地域交流センター(約330平方メートル)を開設した。

このほか外壁のガラス張り化、店舗外構部にベンチを設置するなどして快適性を高めた。工事は今年6月から行われ、総事業費9900万円のうち、民都機構が4200万円を貸し付けた。同法人の西沢正道常務は「地域交流センターは飲食もできる。買い物以外でも気軽に利用してほしい」とPRし、にぎわい創出に期待を込めた。

(橋端智和)